

「H29九州農政局むらの宝」に選定

いずみ民泊体験推進協議会

観光と連携し、田舎にインバウンドの風を



台湾の団体ツアー、農泊後の着物体験



農家での夕食は、鹿児島の田舎料理



みかん収穫は出水の人気体験

取組概要

- H23年から修学旅行生を農泊受入。最大280名規模。H29年の受入数は3000人。香港等海外教育旅行も受入。
- 海外一般ツアーの旅行商談会に参加。農泊・ツル・武家屋敷での着物茶道体験をセットでPR。台湾等の団体ツアーを農泊で受入。香港線のLCC就航に伴いFITにも対応。H28年のインバウンド農泊は276人。
- 留学生による観光資源調査。受入農家がタブレット活用で多言語対応。

活動成果

- 滞在型のため、ツル観察センターや武家屋敷の外国人観光客も増加し、地域全体に経済効果が出てきている。
- 農泊＋ツル＋武家屋敷での着物着付け体験と組み合わせることにより、出水での1泊2日のモデルコースのツアーが台湾を中心に定期的に組まれるようになった。
- 受入農家のタブレット導入による翻訳ソフトの活用により、言葉の不安は和らいでいる。

出水市シティセールス課国際交流室
鹿児島県出水市緑町1-3

Tel : 0996-63-4059 Fax : 0996-63-1331

さつませんだいし

薩摩川内市グリーン・ツーリズム推進協議会

地域資源を活用した3カアップへの取り組み
～「実」力・「味」力・「me」力アップ～



教育旅行生の受入



海外からの修学旅行生受入れ研修会



協議会ホームページ

取組概要

- 本協議会は修学旅行生を対象に農家民泊の受入を行うために組織化。一般旅行者やインバウンドの受入も視野に農家民泊資格取得の増加や新たな体験プログラムを開発。
- 農家の現状を分析するとともに、民泊受入マニュアルを作成、受入スキルの向上とホームページで活動を発信。
- 郷土料理や地元産品を活用するため、オリジナルレシピを開発し料理実習会を開催。

活動成果

- 本協議会の受入状況の分析と体験メニューの精査を行い、受入マニュアル作成により、安全安心な民泊受入が実践されている。
- ホームページを活用、多言語化、活動の動画配信などにより、海外からの教育旅行の受入も可能となった。
- オリジナルレシピを受入の際に提供し、好評を得ている。新規会員の増加につながっている。

薩摩川内市グリーン・ツーリズム推進協議会(薩摩川内市 観光・シティセールス課)
鹿児島県薩摩川内市神田町3番22号 Tel :0996-23-5111 Fax :0996-25-1704

たかやま NPO法人 がんばろう高山

課題と向き合う地域のちから



集荷の様子 見回りや買物支援も

差別化・高付加価値のためシール貼付

けせん団子

取組概要

- 高齢者送迎事業への取組みを契機に、H25年に地区住民全員でNPOを設立。農作物の共同出荷をH27年から実施。28世帯の出荷者から集荷、10km離れた直売所に出荷。帰り便を活用して直売所の商品を届ける買い物サービス等を実施。
- 体育館やピザ窯、研修宿泊施設等を備えた旧小学校跡の交流施設を拠点に大学の合宿、棚田散策や米作り体験等を受入。秋祭りでは、農作物の販売や石窯ピザ体験などで交流。

活動成果

- 共同出荷により、野菜が「売れる」ことで、生きがいや健康づくり・所得向上へと結びついた。また買い物難民の解消、高齢者の見守り等支え合う地域づくりに寄与。棚田米の販売にも取組み、交流イベント等で毎年完売。
- 交流人口は年々増加傾向。交流施設の利用者数は年間6千人。特に大学の音楽サークルとの交流は10年以上継続。180人足らずの集落に多くの子どもや若者が滞在・交流することで、活気が戻った。

日置市役所 農地整備課

鹿児島県日置市伊集院町下谷口1960番地1 Tel :099-273-2111 Tel :099-273-8877

かれいがわ 佳例川地区自治公民館

百年の眠りから覚めた幻のサツマ芋「蔓無源氏(つるなしげんじ)」



集落住民の協力により開設した「かれがあの焼酎屋」



企業による佳例川でのウォーキングイベント

プライベート焼酎「蔓無源氏」

取組概要

- 大正時代に栽培されていた希少芋「蔓無源氏」を3年かけて復活。それを原料とした焼酎を地元酒造メーカーと連携して製造。H25年に集落住民手作りの「かれがあの焼酎屋」をオープンし、焼酎を販売。
- 菱田川源流域の水が育んだ良食味米を「佳例川源流米」として販売。大学や地元企業と連携し、収穫期にウォーキングや社員食堂での利用イベントを開催。H27年にはミラノ万博日本館イベントへ展示し、PR。

活動成果

- 焼酎は年2千本販売。収益の一部を集落に還元。焼酎原料の芋は耕作放棄地を再生し栽培。作付面積は約8ha。耕作放棄地の縮減にも繋がっている。「かれがあの焼酎屋」は、地域内の情報発信の拠点施設となり地域活性化に貢献。
- ウォーキングや地元企業と連携したイベントには、地域内外から多くの参加があり、野菜や加工品等の販売も行い、地元農産物のPRや販売促進、交流拡大につながっている。

佳例川地区自治公民館
鹿児島県霧島市福山町佳例川1541

特定非営利活動法人 エコ・リンク・アソシエーション

アートプロジェクトと農家民泊事業ならおまかせ



農家民泊 昼食の時間



農家民泊 かぼちゃの後片付け

花渡川アートプロジェクト

取組概要

- H13年より中高生の修学旅行を対象とした農家民泊事業を「かごしまグリーン・ツーリズム協議会」(関係19市町で構成)と連携して推進。民泊では、家族同様に迎え、恵まれた自然環境の中で、都会で経験できない体験を提供。
- 国際的な環境アートで活躍する「水」のアーティストを招へいし、多くの人の力と知恵を結集して環境アートを作る「アートプロジェクト」をH8年より、万之瀬川、花渡川、枕崎市木口屋集落で実施。今年から屋久島にて実施中。

活動成果

- 農家民泊での修学旅行の受入は、順調に増加。H26年以降は年間1万4千人程度を受入。受入地域も当初は薩摩半島の西半分であったが、現在は薩摩・大隅半島の全域に広がり、受入家庭は約1,000軒。
- アートプロジェクトでは「水」をテーマに展覧会を行い、作家が提案した作品を地元住民で制作。その作品を世界に向けて情報発信。展覧会終了後は、図録の製作を行い世界の人と共有。

特定非営利活動法人 エコ・リンク・アソシエーション

鹿児島県南さつま市加世田本町53-6

Tel :0993-53-7270 Fax :0993-76-0022

98 鹿児島県 南さつま市

6次産業化

医療・福祉

雇用

「H29九州農政局むらの宝」に選定

なんぷう 株式会社 南風ベジファーム

6産業化＋福祉で地方の問題を解決！



夏の赤しそ。朝収穫してすぐに塩漬



高床式砂栽培でべびーリーフ生産



芋苗植えの受託。今年は10ha

取組概要

- 借り手がなかった砂地4haを借り受け、赤しその栽培を復活。裏作で青高菜などを栽培。加工施設を新設し、漬物に加工・販売するほか、漬物メーカーから浅漬製造を受託。
- 栽培加工作業に障がい者が従事。障がい者の特性に合わせた作業を訓練。足が不自由な方でも作業できる栽培施設を導入、べびーリーフを生産。
- 地域農家の人手不足の解決に向け、ラッキョウの収穫作業等を受託。

活動成果

- 地元のスーパー等に野菜、加工品を出荷することにより、農業出荷額は年々増加し、H28は約5100万円。
- 開業後5年で、60名を超える雇用を創出。特に障害者が働きやすい職場づくりを行い、多くの障がい者を雇用（就労継続支援施設を併設）。
- 農作業受託により地域農家の営農継続に貢献。また離農前の高齢農家とその農家の農地で一緒に農作業も実施しており、円滑な農地の継承が行われている。

株式会社 南風ベジファーム

鹿児島県南さつま市金峰町高橋3075-35 Tel :0993-77-3932 Tel :0993-77-3933

なか っ がわ く

中津川区むらづくり委員会

まだまだ、道半ば……。伝統を引き継ぐ“中津川の底力！”



大祭の様子

にぎわう日曜朝市

金吾さあ焼酎

取組概要

- 400年以上にわたり、「金吾さあ」の名で慕われた島津歳久を偲び受け継がれてきた「金吾様踊り」を地元の大石神社秋季大祭へ奉納。集落ごとに継承されている多彩な踊りを奉納。後継者を育成するとともに、廃れてしまった一部の踊りを復活。
- 活動資金を得るため、遊休農地を利用してさつまいもを栽培。地域独自の焼酎銘柄「金吾さあ」を製造・販売。また「なかっこ日曜朝市」の施設を建設し、地元産の野菜や加工品を販売。

活動成果

- 「金吾様踊り」を「人を呼べる祭」とするため、新聞やテレビを通して積極的にPR。その結果、地区内外から約1600人の観客で賑わう。
- かめ仕込みで熟成させる「金吾さあ」は、当初(H19年)の400本からH29年には1,200本と着実に製造量が増加。収益金の一部で「金吾様踊り」に掛かる経費の大部分が賄われている。
- 日曜朝市も年々、販売高が増加。生産者と消費者との交流が促進。

さつま町役場

鹿児島県薩摩郡さつま町宮之城屋地1565-2 Tel :0996-53-1111 Fax : 0996-52-3514

合同会社 やくにくやどっとこむ 89298.com

ヤクシカ ゼロ・エミッション



ヤクニク屋の外観



ヤクシカを使ったペットフード

皮革の専門家を招聘

取組概要

- 有害駆除として捕獲されたヤクシカが利用されていない状況に心を痛めた猟友会の有志によりH25年に設立。
- 屋久島で捕れたヤクシカの肉を、島内を中心に鹿児島市、福岡県や東京などに出荷。捕獲される年間約5,000頭のヤクシカのうち、10%程度を解体・精肉し流通。
- クズ肉などを利用し、ペットフードを製造。Amazonなどを活用し、全国の消費者に向け販売。また、SNSで広報。

活動成果

- ヤクシカの肉は他の鹿肉より「甘みを感じる味わいとフルーティーな香り」でとても柔らかい」と好評を得ている。
- ペットフードはお土産物として、特にペットを預けて来島した方々に喜ばれている。また、野生鹿のラーメンが新たな特産物になりつつある。皮を靴・ジャケットなどに製品化し、その堅牢性などが高く評価されている。
- ヤクシカが島の資源になり得るとの認識が広がってきた。

合同会社89298.com

鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦421-34 Tel : 0997-42-1129 Fax : 同左

やくしまみやのうら
株式会社 屋久島宮之浦加工グループ

世界自然遺産の島のこだわりを食卓へ



取組概要

- 果樹同好会婦人部、生活改善グループの活動を経て、H7年に缶詰等の営業許可を取得。H26年に法人化。
- たんかん、ぽんかんや屋久島の軟水等を使った特産品開発に研究を重ね、東京農大や県の指導センター等の技術支援も受け、商品化を推進。近年は甲南女子大の学生と商品を共同開発し販売。
- 小・中学生への食育活動がきっかけで、加工品を学校給食で提供。島内の中・高校生や島外の修学旅行生を対象に加工体験の受入も実施。

活動成果

- 「屋久島にこだわった手作りの味を届けたい」との商品作りは各種コンクールで多数受賞するなど高く評価。18種類の商品を開発。
- 島内約20店舗、島外約10店舗のデパート等で販売。平成28年にはJA鹿児島のギフト商品として取引されている。売上も販売開始時の300万円弱から1300万円程度まで伸びている。
- 女性の加工組織として島で初めて営業許可を取得、販売を開始したことが、島内5つの加工組織の起業に貢献。

株式会社 屋久島宮之浦加工グループ
鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦2204-4

Tel :0997-42-0549

きかいしま ゆ 合同会社 喜界島 結い

キラリと輝く島の食の継承としま興し



島内祭りで喜界島特産品をPR

喜界島産白ゴマ使用のクッキー

取組概要

- 地元産品を活用した地元振興に向け、町内加工場を利用し、ごま商品の研究・開発を開始したのがきっかけで、H15年に設立。H27年に法人化。
- 助け合い励まし合う「結いの心」をモットーに、消費者と共に喜び合う安心・安全の島の特産品開発を推進。
- ごま・みかんドレッシング、そら豆茶、黒糖そら豆粉、豆菓子等を開発。島内の加工センター内等で販売。併設するカフェで、喜界島産に拘るパスタ等を提供。

活動成果

- 加工品の開発・販売で地域活性化に寄与。法人化で島内での雇用促進、6次産業化に貢献。売り上げは、着実に増加し、H27年度は約1500万円。
- カフェは、観光客や島内住民に親しまれ、サラダに使用し好評のそら豆クルトンを今年から商品化し、販売。
- 観光船寄港時への出店、首都圏の奄美群島物産展への出展、自社フェイスブックでの喜界島の魅力の発信など島のPRに貢献。

喜界町生活研究グループ連絡協議会・合同会社 喜界島 結い
鹿児島県大島郡喜界町湾1298番地

Tel : 0997-65-0958

Fax : 同左

きかいちょう

喜界町農産物加工センター

在来農作物を活かし、キラリと輝くいい島へ



島そら豆しょうゆの販売状況



かごしま新特産品コンクールで受賞

かごしま食の大交流会

取組概要

- 喜界町の農産物を活用した特産品の開発育成のため、H18年に設立。
- 在来の島そら豆を使用した豆醤油を開発。デザイナー経験者の地域おこし協力隊員とともに、ラベルデザインや価格設定を行い、H28年の県の新特産品コンクールに応募し奨励賞を受賞。
- 東京の県物産展等に出店し、販路を拡大。親子を対象の島そら豆収穫体験を行い、その価値を次世代に継承。

活動成果

- 島そら豆は、自家消費や緑肥としての利用だったが、醤油の原材料として活用し商品化することによって島そら豆の価値が上がり島内外の企業から注目を受けるようになった。
- 収穫体験はSNSを活用して集客。多くの参加者を集め、島そら豆に興味を持ってもらうことができた。
- ブログ、フェイスブックを開設。そら豆醤油は小麦・大豆アレルギーの方にも使える醤油として、グルテンフリーの醤油としての特徴をPR。島そら豆の魅力や活動を発信。

喜界町農産物加工センター

鹿児島県大島郡喜界町湾1298番地

Tel : 0997-65-3666 Fax : 同左

あごん 阿権むらづくり委員会

世界自然遺産登録に向けた阿権の宝再発見



取組概要

- H22年に全住民で当委員会を設立。足元の宝を再発見し、集落資源として活用する活動を推進。「前里屋敷」、「平家の石垣」、樹齢300年のガジュマル、海ガメが産卵に訪れる「阿権浜」など集落資源の景観保全を推進。集落入口に集落資源の看板を設置。
- 婦人会によるエコツアーガイドの習得、小学児童が集落の宝をガイドする「島っ子ガイド」を実施。農家民宿、同敷地内のカフェや集落の情報発信拠点施設が連動して訪問客を受入。

活動成果

- 子供から高齢者まで集落行事に関わり、子どもを集落全体で育てる環境が育まれ、集落への誇り・郷土愛の醸成が図られた。
- 地域ぐるみの環境整備により集落資源が新たな名所となり、「島っ子ガイド」も児童目線でのガイドが好評。
- 農家民宿やカフェなど各施設の訪問客が他の施設も利用するなどの相乗効果や宿泊者と集落住民との交流拡大も図られ、訪問客が増加。

阿権むらづくり委員会

鹿児島県大島郡伊仙町阿権17755-1-1 Tel :